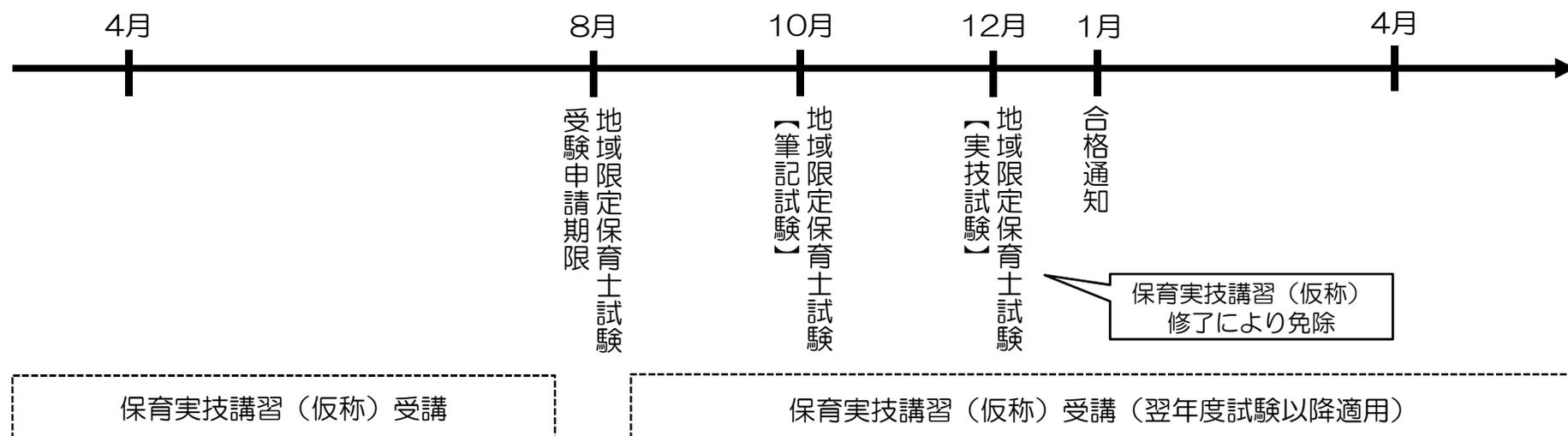


保育実技講習(仮称)の実施時期を踏まえたシミュレーション

第3回 保育士養成課程等検討会	資料2
平成27年9月10日	

【パターン1】筆記試験受験までに保育実技講習(仮称)を受講することにより実技試験を免除する場合

- 保育実技講習(仮称)を修了し、地域限定保育士試験受験申請時に併せて免除申請することにより、当該試験の実技試験を免除する。



【メリット】

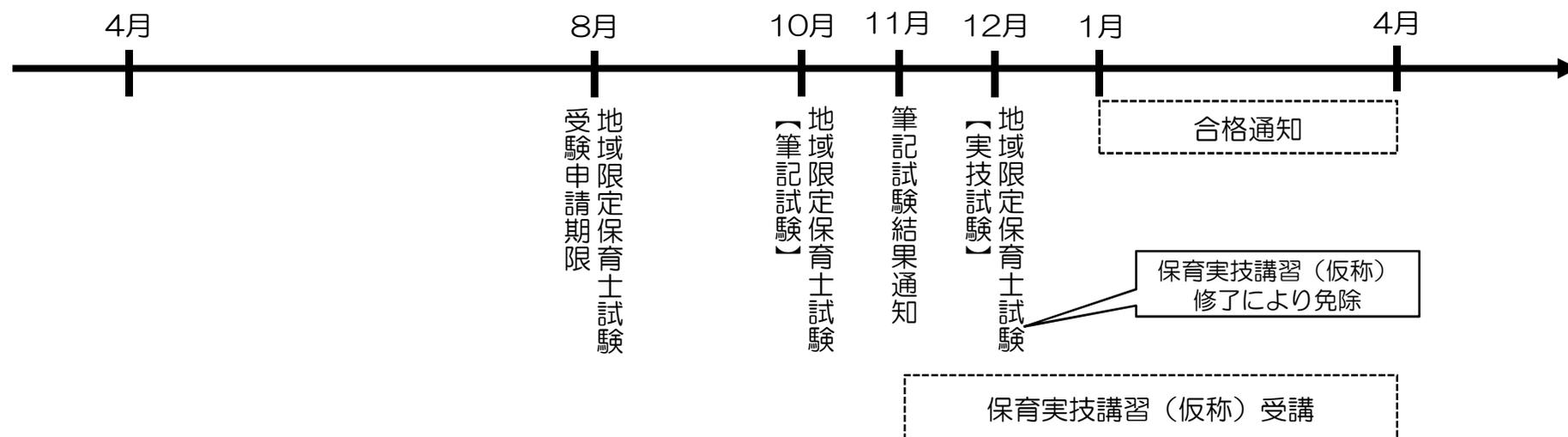
- 実施機関は、保育実技講習(仮称)の実施時期や実施方法などについて、ある程度自由に設定することが可能となる。
(例：1週間の集中講義で実施、週1コマの前期又は後期日程で実施 など)
- パターン2、3と比べ、地域限定保育士試験の試験事務作業が、ある程度効率化できる。
(必要となる事務作業は、受験申請時の確認のみ)
- 保育士を目指す前に、保育現場を理解することができる。

【課題】

- 筆記試験受験前であるため、保育に関する知識・技能の習得が充分でない場合があり、保育を理解しないまま受講することとなるおそれがある。
- 実技試験の出題範囲である「保育の表現技術」の意義等について理解するため、保育原理などの基本部分も含め学ぶ必要がある。

【パターン2】筆記試験合格後に保育実技講習（仮称）を受講することにより実技試験を免除する場合

- 地域限定保育士試験の筆記試験合格後、保育実技講習（仮称）を修了することにより、当該試験の実技試験を免除する。



【メリット】

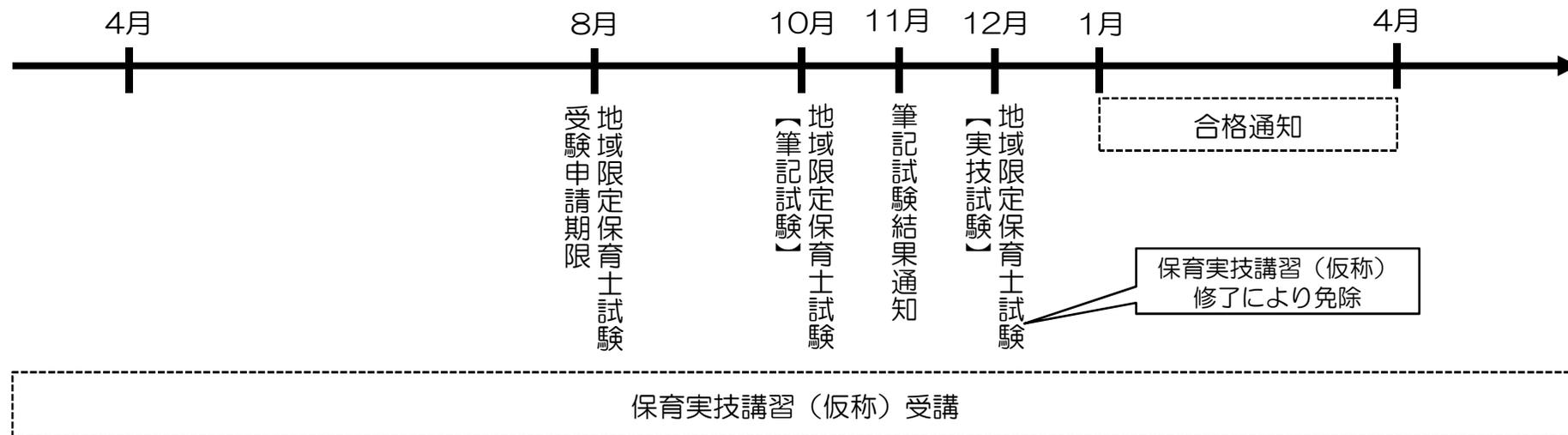
- 筆記試験合格者に限定しているため、保育に関する知識を習得済みであり、「保育の表現技術」に特化したカリキュラム構成とすることができる。
- 受験申請時において実技試験受験か保育実技講習（仮称）受講かを選択する仕組みとしない場合、実技試験不合格者であっても、保育実技講習（仮称）を修了すれば試験合格となり、二重にチャンスが増えることとなる。
- 保育実技講習（仮称）の受講者を絞ることができる。
- 保育士として従事する前に、より保育現場を理解することができる。

【課題】

- 筆記試験合格後から保育実技講習（仮称）を受けるまでの期限を定める（少なくとも試験実施年度内）必要がある。
- 上記期間に限定して保育実技講習（仮称）を開講する必要がある。（筆記試験合格者全員を受け入れることができる実施機関及び実習先の確保が必要）
- 保育実技講習（仮称）修了をもって試験合格となるため、当該講習修了の確認作業等を踏まえると、試験事務作業が繁杂となる。（随時合格通知の発行が必要となる。）
- 受験申請時において実技試験受験か保育実技講習（仮称）受講かを選択する仕組みとしない場合、二重にチャンスが増えることについて許容するか。（受験申請時において、実技試験を受験するのか又は保育実技講習（仮称）を受講するのか予め選択しておく必要があるのではないか。）

【パターン3】受験申請時における選択の有無、筆記試験合格の有無に限らず、保育実技講習（仮称）を受講することにより実技試験を免除する場合

- 地域限定保育士試験の受験申請や筆記試験合格の有無にかかわらず、保育実技講習（仮称）を修了していれば、当該試験の実技試験を免除する。



【メリット】

- 受講時期を限定しないため、受験者にとって利便性が高い。
- 実施機関は、保育実技講習（仮称）の実施時期や実施方法などについて、ある程度自由に設定することが可能となる。
- 受験申請時において実技試験受験か保育実技講習（仮称）受講かを選択する仕組みとしない場合、実技試験不合格者であっても、保育実技講習（仮称）を修了すれば試験合格となり、二重にチャンスが増えることとなる。
- 保育士を目指す前又は保育士として従事する前に、より保育現場を理解することができる。

【課題】

- 受験申請時において実技試験受験か保育実技講習（仮称）受講かを選択する仕組みとしない場合、二重にチャンスが増えることについて許容するか。（受験申請時において、実技試験を受験するのか又は保育実技講習（仮称）を受講するのか予め選択しておく必要があるのではないか。）
- 保育実技講習（仮称）の修了時期により、試験合格が年度をまたぐおそれがある。（筆記試験合格科目の合格時期により、再度筆記試験を受ける必要が生じるおそれがある。）
- ①試験合格の判定基準が複数あること、②保育実技講習（仮称）による試験合格の場合、合格判定時期が未定であることから、試験事務作業がかなり煩雑になる。